

---

# 社会分科会

---

## I 研究のあゆみ

4月18日(火)	2023年度名教組教研オリエンテーション (2023年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月2日(火)	発表テーマ報告・集約	
6月1日(木)	研究計画の検討	【教育館】
5月下旬～6月下旬	全体での会は開かなかったものの、個別に指導	
8月29日(火)	レポートの検討	【教育館】
9月16日(土)	第73回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウイंकあいち】

## II 研究協議の概略

学校の近くで作っている製品や普段口にしているもの等の子どもにとって身近なものを取り上げながら、子どもが社会の出来事に関心を持ち、考えや理解を深めたり、考えを表現したりすることに重点を置いた実践が報告された。また、子どもが興味・関心をもったことを主体的に追究し、追究したことを学級全体で共有しながら、これからの社会の在り方を考えるという個別最適化された学びを意識した実践も多く報告された。

協議の中では、社会との関わりを意識しながら、学習を進めていくことができるようにするために、今日的な課題の教材化や多様な視点で社会的事象を捉えることができるような学習活動の工夫、児童に切実感をもたせられるような資料提示の工夫、自分の考えを深められるような思考ツールや学習シートの活用方法等が話題となった。

## III 今後に残された課題

- 単元の導入で、子どもがたくさんの疑問を持ち、主体的に追究することができるような学習問題や学習課題を設定すること。
- 子どもが社会との関わりを意識できるように、今日的な課題をどのように教材化するとよいかということ。
- 社会的事象に関わる様々な立場を理解し、学習問題や学習課題についての考えを深めることができるようにするには、学習活動をどのように工夫するとよいかということ。